

カーネーション



烏帽子岳の中腹、下宇戸町には農業生産法人黒髪カーネーションの硬質フィルムハウスが広がっています。その広さ延べ2ヘクタール、県内でも有数の大規模カーネーション生産地です。

カーネーション収穫作業
売を始めました。平成6年から農業生産法人となり、現在は7戸の農家が法人と各個人分を合わせた4ヘクタールのハウスで、年間350万〜400万本のカーネーションを生産し、関東、関西、岡山などへ出荷しています。

鉾石などの岩石を溶かして繊維状にし、さらに吸水性の高いスポンジ状に固めたものです。水はけが良く、全く土を使用していないため根ぐされや連作障害がなくなり、高品質のカーネーションが育っています。

カーネーション出荷作業
代表の浦清一さんは、「これから母の日に向けて1年で一番忙しい時期を迎えます。わたしでカーネーション栽培は2代目ですが、3代目となる20〜30代の後継者も育っています。ますます栽培が盛んになると思います」と話しました。



平成5年に建設された下宇戸町のハウスは、温度や肥料の濃度・量、散水のすべてをコンピュータで管理し、土の代わりにロックウールを使用しています。ロックウールは鉄



ピバ



メグ



アメリカ



ピコ

現在試験栽培中のカーネーション



その他の草花



マーガレット



ハウス内のマーガレット

マーガレットのほかカラーやグラジオラスなど合わせて約40種類のオリジナル品種を登録し、作られた花は市場での評価も高く、需要に対して供給量が追いつかず高値で取り引きされています。

く、葉のつやも違ってきます。有機栽培は苦勞の連続ですが、工程の中で一つずつ工夫を重ね良いものを作っていくと全員で取り組んでいるそうです。

インタビュー



ワイルドプランツ吉村 吉村 圭さん(重尾町)

農業大学を卒業後、2代目として就農し、生産と育種を担当しています。この10年間で、マーガレットのオリジナル品種を25種類作りました。「名前を聞いたことはあるのに、どんな花なのかは知らない。でも、子どもが描く花の多くはマーガレットの形」という矛盾が面白く、そこに魅力を感じ、マーガレットの育種に取り組まれました。

重尾町にある「ワイルドプランツ吉村」では、マーガレットやカラー、グラジオラスなどを中心に120種類の花を栽培し、年間約300万本を関東、関西、北海道などに出荷しています。

重尾町のビニールハウスは広さ約1・7ヘクタールあり、バクテリアを使った微生物農法で草花を栽培しています。土壌消毒をせず、農薬の使用も極力控えているため、人間の手を加えながらも自然界に近い環境を作ることができます。使用する有機肥料はすべて自家生産され、出荷される花は野生種に近い太くしなやかさが特徴で、見た目も日持ちもよ



マーガレット・カシス



マーガレット・レッドアイ



マーガレット・テトラ



マーガレット・イエローサブマリン



マーガレット・ミュウ

これからは、グラジオラスの育種に力を入れ、さらに新しい花を作っていく予定です。